

野鳥なのですが、低い電線上に並んでいまし。その数三十羽あま。着地。間近で見ると、「キリキリコロコロ」と鈴を転がしたよ。羽に交じる黄色が鮮やうなかわいらしい声でさえずっていました。鳥でした。ますます朝私にびっくりしたのの散歩が楽しみになりか、餌を食べるためか、そうです。(亀山・主一斉に真下の田んぼに 婦・65)

リコール問題市長深く考えて

名古屋市のリコール 救われた気持ちです。問題に關し片山善博総 河村市長は就任当時か務相が呈した苦言(19らパフォーマンス先行日朝刊)。冷静な言葉に、市民が振り回され

新任してまた市長選に出る大義がありませんし、選挙にはお金がかかるのです。このインタビューを読み、市政について深く考えていただきたいです。(名古屋西・主婦・79)

編集局
電話 052(201)4133
午前11時~午後3時(日曜日、祝日は休み)
FAX 052(221)0819
Eメール center@chunichi.co.jp
(住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号明記。200字程度。二重投稿はご遠慮ください)

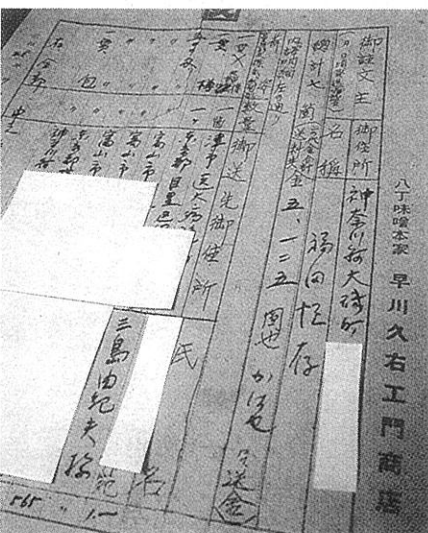
三島由紀夫あて 八丁味噌注文書



三島由紀夫

愛知県岡崎市の八丁味噌の老舗醸造元「カクキュー」が過去の帳簿調査を始め、評論家で劇作家の福田恒存さん(一九二一〜一九九四年)が、作家の三島由紀夫(一九二五〜一九七〇年)への贈答品を注文した書類を見つけた。二十五日は、三島が自決して四十年の節目。戦後文化に大きな足跡を残した二人が、八丁味噌を通して親交を深めた様子がかがえる。

注文書は一九五三(昭和二十八)年七月十七日付で、送る先に福田さんの親類らと並



福田恒存さんから三島由紀夫へ八丁味噌の発送を依頼した注文書。岡崎市八帖町のカクキュー

出る大義がありませんし、選挙にはお金がかかるのです。このインタビューを読み、市政について深く考えていただきたいです。(名古屋西・主婦・79)

岡崎で発見 劇作家・福田恒存さん贈る

福田さんは五〇年い。福田さんの談話代、三島らと共に劇団が翌日の東京新聞(中文学座に所属。年齢は日新聞東京本社発行)十歳以上離れていたに掲載された。が、保守派の論客として気が合私的にも交流。大岡昇平ら七人の文化人が「大切に育てた木を焼いて客人をもてなした武士」の故事にちなみ結成した「鉢の木会」にも所属し、月一回、会員宅で妻らの手料理で酒を酌み交わし語り合った。三島はその後、右翼的思想に傾倒し、七〇年十一月二十五日、陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地(当時)でクレーターの決起に失敗し、割腹自殺を遂げた。「分かるから」カクキューは調査をする中で、ほかにも小説家の志賀直哉、映画監督の小津安二郎、画家の藤田嗣治、陶芸家の北大路魯山人ら多くの文化人の名を確認。早川久右衛門社長は「一口コシで評判が広がったのでは。今後は資料の展示も検討する」と話している。

女子学生の親切心 燃ごみを取集場所を持って行く」と、荷台にごみ袋を載せてゆつくり歩いていました。車が出しています。先日可

十九年に卒業。遺塵を過ぎてから毎年、一泊で出掛けています。今回の参加者は十九人。貸し切りの観光バスで三重県の関宿、伊勢神宮、二見浦へ。昨年架け替えられた内宮の宇治橋がともきれいでした。(豊明・主婦・78)



「山歳」の孫に猶予判決

百万円余りと多額。登八年、「おれは即身成貴美被告は年金受給の「仏する」と言い残して手続きをとるなど重要自宅で死亡したにもか

菩薩像立体画像 iPadで

平等院で展示開始

平等院(京市)は二十二日、雲中供養菩薩の精密画像を多機能携帯端末d(アイパッド)に楽しめる体的に楽しめる。雨の「小寒さ」雪が降り始める二十四節「小雪」の二東海地方は久雨が降り、冷一段落した。